

情報処理学会東北支部研究講演会（秋田大学）報告

○日時：2025年12月15日（月）13時～14時20分

○主催：情報処理学会東北支部

○共催：秋田大学大学院理工学研究科、秋田大学情報データ科学部

○場所：秋田大学一般教育2号館302

○講師：横須賀武士氏

（パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社 インフラソリューション本部
プラットフォームサービス事業部 事業部長）

○演題：超スマート時代のキャリアデザイン～社会に貢献するために何をするか～

○概要：デジタル技術を駆使して人間中心の社会を目指す「超スマート社会（Society 5.0）」は、多様な価値観が混在するVUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代とも言われている。

本講演では、パナソニックがPX（Panasonic Transformation）という企業変革を推進し、デジタル技術を活用した経営改革を進めていることが紹介された。また、予測困難なスマート時代を生き抜くために、必要となる成長のマインドセットとして、“世の中を知る（アウトサイドイン）”と“自分自身を知る（インサイドアウト）”などについても紹介があった。

以上のように、デジタル技術を活用した変革事例と共に、デジタル社会に貢献するための人物像についても理解することができ、参加者にとって非常に有意義な講演であった。

○参加者：約125名

○報告者：景山陽一（秋田大学情報データ科学部）